



2008年3月20日
NPO法人 エガリテ大手前

2007年度 次世代育成環境ランキング (主要49都市、東京23区)

1. 本調査について

- 1) 内容： 各種統計データなどを独自の基準で評価したもの。
- 2) 目的： 自治体間の次世代育成環境（出産、乳幼児保育、児童福祉、児童養護、児童保育、母子福祉、小児医療など）、行政の姿勢に違いが見られる。次世代育成支援対策推進法によって提出が義務付けられた「行動計画」（自治体、従業員301名以上の事業主による）についても取り組みに差があると思われる。市民による健全な監視役として、各都市の環境評価を行うことで、自治体の動機付けとなるとともに、一般市民の意識向上に寄与したいと考えたもの。
- 3) 今後の予定： 年一回（3月頃）作成する。

2. 当法人について

- 1) 名称： 特定非営利活動法人（NPO）エガリテ大手前
- 2) 設立： 2004年4月（NPO認証：2005年10月）
- 3) 趣旨： 少子高齢化が急速に進む中で、男女共同参画社会の形成は、我が国の今後の発展のための最重要課題である。しかしながら、各種の法規制や制度導入は進められているものの、女性を取り巻く環境は十分なものとはいえず、いまだに男女格差・差別や前近代的な出産・育児・就労が続いているのが実態である。また、育児休暇や介護休暇の取得率、保育所の待機児数、子育てセンターの利用率などを見ても、制度やシステムの改善に加えて、その普及定着化と、女性を取り巻く社会の意識変化が求められていると言えるだろう。ところが、我が国の官庁や企業での不祥事の内部告発が後を絶たないことを見ても、組織による自浄・改善機能だけに期待することは難しく、社会の適正な監視や牽制が求められると言えるだろう。この法人では、次世代育成支援対策推進法により自治体や企業などが作成する「行動指針」「行動計画」の評価などの調査・研究を行ない、公表並びに、広報・出版、講演を行うとともに、あわせて行政や企業などへの提言を行うことで、男女共同参画社会の形成促進に寄与することを目的としている。ついては、この活動に、客観性、中立性、良識性、かつ非営利性が求められるため、特定非営利活動法人（NPO）とするものである。
- 4) メンバー： 主婦やサラリーマンを中心に、大学教員、医師、薬剤師、産褥ヘルパー、消費生活アドバイザー、研究所調査員、社会福祉士、介護福祉士、統計専門家、アナリスト、中小企業診断士、衛生管理士、福祉サービス第三者評価調査者、フードアナリスト、宅地建物取扱主任など幅広い層からの参加を得ている。
- 5) 問合せ先： furukubo1978@mercury.ne.jp

3. 調査対象： 東京 23 区、地方自治法の定める政令指定都市と中核市の合計 49 都市

4. 調査結果

1) 「次世代育成環境ランキング」2007 年

① 静態分析（現状）

	出産 環境	保育 環境	児童 福祉	幼児 保育	児童 保育	小児 医療	出生 指数		ハード ウェア	ソフト ウェア		総合
千代田区	1	2	15	1	2	4	10		1	1		1
中央区	19	23	15	13	6	6	1		9	18		15
港区	22	18	15	10	5	22	4		19	21		21
新宿区	2	7	5	18	8	18	21		8	17		13
文京区	4	11	15	4	14	22	5		13	16		16
台東区	7	5	15	2	17	7	16		3	3		4
墨田区	8	10	15	21	13	1	9		12	5		7
江東区	11	20	14	22	15	16	2		21	20		22
品川区	21	4	8	19	1	8	6		6	9		5
目黒区	5	9	11	7	9	21	13		17	6		11
大田区	14	14	9	14	18	9	8		16	11		14
世田谷区	17	19	10	16	10	5	15		18	4		10
渋谷区	13	13	1	15	20	15	17		10	19		17
中野区	3	16	12	8	4	10	23		5	13		6
杉並区	10	8	2	5	11	2	19		4	2		2
豊島区	6	1	15	20	3	20	22		11	7		9
北区	20	6	3	3	16	3	20		2	8		3
荒川区	23	15	15	23	7	18	18		20	23		23
板橋区	15	12	4	17	12	11	11		14	12		12
練馬区	16	22	13	12	22	13	7		22	14		20
足立区	18	17	7	6	23	14	14		15	22		19
葛飾区	9	3	6	9	19	17	12		7	15		8
江戸川区	12	21	15	11	21	12	3		23	10		18

	出産 環境	乳幼児 保育	児童 福祉	児童 養護	児童 保育	母子 福祉	小児 医療	出生 指数		ハード ウェア	ソフト ウェア	総合
札幌市	36	33	33	13	27	9	45	47		28	38	38
仙台市	39	37	31	24	15	18	33	34		36	21	30
さいたま市	47	47	46	41	45	48	11	20		49	39	47
千葉市	46	40	40	42	38	34	40	42		45	43	46
横浜市	45	32	43	37	26	41	46	33		47	33	45
川崎市	38	45	41	43	7	39	35	24		43	17	37
静岡市	22	20	28	28	16	43	42	23		29	27	28
名古屋市	7	26	25	18	30	31	48	27		31	35	35
京都市	2	21	9	6	18	8	44	46		7	32	19
大阪市	5	15	14	8	9	7	43	41		16	15	15
神戸市	9	43	24	12	5	6	10	48		19	6	13
広島市	10	16	19	17	2	16	25	19		24	2	6
北九州市	1	23	15	3	20	10	2	22		2	7	4
福岡市	19	31	30	21	8	27	47	44		32	20	27
旭川市	11	22	17	1	14	5	19	49		10	11	12
秋田市	25	11	26	29	32	3	8	37		4	25	18
郡山市	44	29	48	45	41	22	17	6		33	37	39
いわき市	42	12	32	33	39	40	27	11		25	45	31
宇都宮市	32	25	36	39	34	24	24	9		41	22	29
川越市	33	44	45	47	46	21	21	38		40	46	44
船橋市	48	46	38	49	47	45	29	28		46	49	49

横須賀市	41	38	49	44	40	14	23	35		34	44	43
相模原市	35	49	44	36	42	47	37	36		48	48	48
新潟市	14	5	10	48	24	38	36	40		26	26	23
富山市	24	9	3	27	3	13	5	16		3	4	3
金沢市	18	13	2	13	10	30	34	14		13	23	10
長野市	13	14	6	24	13	17	4	10		6	8	5
岐阜市	29	41	47	46	6	36	13	21		30	13	25
浜松市	16	39	42	32	31	46	41	7		44	34	42
豊橋市	27	28	12	19	36	28	15	4		21	30	21
豊田市	49	34	29	34	37	49	21	1		42	40	41
岡崎市	37	27	20	35	49	19	19	2		27	42	34
堺市	20	36	35	16	21	44	18	30		39	12	26
高槻市	31	48	39	11	48	42	7	26		37	41	40
東大阪市	12	42	34	9	19	32	49	25		38	31	36
姫路市	43	30	21	40	25	33	30	18		35	29	33
奈良市	26	35	27	10	44	23	9	45		23	36	32
和歌山市	21	19	16	7	4	25	26	32		5	14	9
岡山市	40	18	8	1	23	29	39	12		12	47	22
倉敷市	28	17	11	38	43	35	1	8		22	24	20
福山市	34	1	4	26	17	11	31	5		20	5	7
高松市	6	7	22	31	28	26	12	3		17	10	11
松山市	17	24	37	13	33	12	28	39		18	28	24
高知市	8	8	5	29	12	20	14	31		9	9	8
長崎市	30	4	13	20	22	15	16	43		15	16	16
熊本市	4	6	18	22	29	2	38	15		14	18	17
大分市	23	3	1	4	11	4	3	17		1	3	1
宮崎市	15	2	7	23	1	37	6	13		11	1	2
鹿児島市	3	10	23	5	35	1	32	29		8	19	14

② 動態分析 (改善度)

	出産 環境	保育 環境	児童 福祉	幼児 保育	児童 保育	小児 医療	出生 指数			ハート ウェア	ソフト ウェア		総合
千代田区	2	18	3	3	17	6	4			18	2		11
中央区	19	23	3	1	12	6	3			13	14		17
港区	14	20	3	4	8	6	5			19	4		12
新宿区	8	12	3	20	5	6	20			14	20		16
文京区	16	5	3	11	13	6	1			8	9		10
台東区	7	21	3	22	7	6	2			23	12		21
墨田区	4	9	3	9	10	1	9			2	1		1
江東区	15	13	1	5	14	5	14			1	16		3
品川区	11	3	3	21	18	6	16			6	22		14
目黒区	1	19	3	13	20	6	21			21	15		19
大田区	18	7	3	16	22	3	15			11	7		7
世田谷区	17	11	3	7	2	22	12			12	6		9
渋谷区	20	2	3	19	19	6	6			10	17		15
中野区	6	22	3	14	3	6	23			20	18		18
杉並区	12	6	3	6	6	22	13			7	8		6
豊島区	22	17	3	10	23	21	8			22	19		23
北区	23	15	3	15	15	6	19			16	23		22
荒川区	3	10	3	17	1	6	17			9	11		8
板橋区	5	8	3	12	11	3	7			5	5		4
練馬区	13	14	3	18	21	6	10			15	21		20
足立区	9	1	3	23	4	2	18			3	3		2
葛飾区	21	4	2	2	9	6	22			4	13		5
江戸川区	10	16	3	8	16	6	11			17	10		13

	出産 環境	乳幼児 保育	児童 福祉	児童 養護	児童 保育	母子 福祉	小児 医療	出生 指数		ハート ウェア	ソフト ウェア		総合
札幌市	32	12	18	21	47	44	8	25		34	11		17
仙台市	16	27	9	26	3	39	8	35		20	31		9
さいたま市													注1
千葉市	28	46	35	23	25	45	8	27		45	44		37
横浜市	8	5	11	34	25	15	8	19		19	19		7
川崎市	10	35	37	10	42	7	2	10		10	3		2
静岡市													注1
名古屋市	13	21	43	11	41	41	8	16		37	12		18
京都市	23	36	40	3	16	2	8	28		12	26		14
大阪市	27	11	31	12	13	25	5	20		23	2		5
神戸市	29	24	22	35	8	12	4	17		6	7		6
広島市	47	9	20	5	12	12	8	22		18	21		13
北九州市	43	47	45	29	20	14	47	32		48	40		40
福岡市	30	14	30	9	25	9	8	9		17	23		10
旭川市	36	4	17	41	25	8	8	39		14	24		19
秋田市	41	26	13	47	10	36	8	34		24	47		27
郡山市	14	15	28	40	25	47	8	40		28	16		23
いわき市	44	44	42	38	24	31	47	42		46	48		41
宇都宮市	26	38	21	45	25	29	8	12		39	34		28
川越市	21	39	24	32	25	19	8	47		33	25		30
船橋市	24	33	23	37	18	30	8	44		29	30		29
横須賀市	18	13	19	27	25	10	8	43		16	13		16
相模原市	22	45	44	19	48	31	8	26		41	46		36
新潟市													注1
富山市													注1
金沢市	31	42	32	48	22	22	8	41		47	33		38
長野市	25	29	10	31	1	6	8	37		7	41		8
岐阜市	1	48	48	17	45	35	8	29		38	20		24
浜松市													注1
豊橋市	37	34	41	16	25	16	8	36		40	32		34
豊田市													注1
岡崎市	20	43	36	27	25	40	8	33		42	35		35
堺市	17	1	8	15	25	28	1	15		3	1		1
高槻市	42	23	26	14	25	31	8	46		22	38		32
東大阪市													注2
姫路市	11	30	29	42	23	27	8	30		31	22		26
奈良市	39	32	12	7	21	5	8	45		15	43		22
和歌山市	40	37	34	39	25	42	8	48		43	42		39
岡山市	45	25	7	44	5	25	8	24		13	45		20
倉敷市													注1
福山市	2	6	4	2	25	43	8	5		4	9		4
高松市	4	31	38	20	43	37	8	7		25	18		12
松山市	7	7	6	13	44	20	7	14		9	5		3
高知市	34	40	47	36	25	48	6	38		44	10		33
長崎市	35	10	16	30	17	37	8	31		27	36		21
熊本市	33	22	25	43	19	21	8	23		35	15		25
大分市	38	20	27	46	46	18	8	21		36	37		31
宮崎市	3	41	39	32	15	16	8	6		30	27		15
鹿児島市	12	28	46	24	11	3	8	8		32	14		11

注1：市町村合併のため比較不能

注2：初回調査で比較データなし

2) 東京 23 区

   出産環境

- a) 現状： 千代田、新宿、中野の順で優れる。千代田は妊娠 5 ヶ月から 18 歳までの「次世代育成手当」を制限なしに支給。
- b) 改善度： 目黒、千代田、荒川の順で優れる。目黒、荒川は助産師数が増加。千代田は病院診療所数が増加。大田は第 3 子以降に出産育児一時金を交付。足立は妊婦無料健診を 2 回から 5 回に拡充。

   保育環境

- a) 現状： 豊島、千代田、葛飾の順で優れる。対象人口当りの保育所数・定員数などは豊島、北、墨田、新宿、葛飾が充実。対象人口当りの待機児童数は千代田、杉並、葛飾、新宿が少ない。千代田は待機児童ゼロ（幼稚園も含め）を維持しており認証保育所を積極誘致。葛飾は構造改革特区事業として 2 歳児の幼稚園入園を可能に。北は親との近居を促進する「親元近居助成」を実施。新宿は大規模な協働事業提案制度で市民団体との協働を促進。
- b) 改善度： 足立、渋谷、品川の順で優れる。足立は待機児童数が大幅に減少。渋谷は一日単位の延長保育、リフレッシュ時預かりを推進、中間所得層向けの保育料自己負担を大幅軽減。足立はサポーターが自宅訪問する「子育てホームサポート」（産後 6 週間～12 歳）を推進。文京は緊急一時保育を拡充し、子育て支援券・商店街提携ポイントカードを推進。杉並は子育て支援券、一時保育を推進。

   児童福祉

- a) 現状： 対象人口当りの児童福祉施設数は渋谷、杉並、北の順で充実。

   幼児保育

- a) 現状： 千代田、台東、北の順で優れる。対象人口当りの幼稚園数・学級数・在園数は千代田、港、台東、文京が充実。対象人口当りの三歳児在園数は千代田、台東、北が充実。文京、新宿、品川は幼保一元化を推進。
- b) 改善度： 品川、文京、中央の順で優れる。中野、杉並、江戸川は幼稚園学級数を増加。江東、葛飾、北は在園児数を増加。葛飾、世田谷は 3 歳児在園数を大幅に増加。

   児童保育

- a) 現状： 千代田、台東、北の順で優れる。対象人口当りの学童クラブ施設数・定員数・登録数は千代田、品川、北が充実。遊び指導員は杉並、荒川、中野が充実。学童クラブ無料は中央、港、品川、世田谷、渋谷。北は不審者情報などを配信する「安心安全メール」を開始。
- b) 改善度： 荒川、世田谷、中野の順で優れる。品川、世田谷、江戸川で学童クラブ登録数を大幅に増加。新宿、大田、葛飾で遊び指導員を拡充。北は土曜の学校で子供の活動場所を確保する「寺子屋」「地域土曜講座」を実施。墨田は学童クラブの障害児受入れ、目黒は学童クラブ時間延長を推進。葛飾は小学高学年児童も対象に学校を開放。

   小児医療

- a) 現状： 墨田、杉並、北の順で優れる。墨田、杉並、北は対象人口当りの小児夜間救急施設が充実。北、世田谷、港、台東では中学卒業までの入院・通院医療費を助成。
- b) 改善度： 墨田、足立、板橋、大田の順で優れる。墨田、足立、板橋、大田は小児夜間救急施設を充実。

   ハードウェア

対象人口当りの施設数などのハードは、千代田、北、台東の順に優れている。足立は地域住民が自主運営する住区センターで子育てグループ活動を促進。大田は児童館などでの学童クラブを実施。板橋はオムツ交換や授乳のための「赤ちゃんの駅」を保育所や児童館で開放。江戸川は幼児や中高生など多世代が利用する施設「共育プラザ」を運営。

- a) 改善度： 中央、品川、北の順で優れる。

   ソフトウェア

開業時間、料金、助成などのソフトでは、千代田、杉並、台東の順に優れる。杉並は市民大学に「子育て支援コース」を開設。北は年齢毎の家庭と区の係りを工夫（0歳児の家庭訪問、1歳児の誕生会、2歳児の児童館などへの誘導、3歳児の図書館での絵本プレゼントなど）。大田は地域住民による子育て見守りネットワークを実施。板橋や杉並は育児不安・負担軽減のための各種サービスに利用できる金券制度を開始。

   総合

- a) 現状： ハード、ソフトの両面で対象人口との負の相関傾向が見られるため、出生指数を加味した総合評価では、千代田、杉並、北の順で優れる。
- b) 改善度： 墨田、足立、江東の順で優れる。

-    その他： 本調査の結果から、バランスの取れた子育て環境整備に意欲的な杉並に「優秀環境賞」、学童クラブや小児夜間救急医療などの充実に取り組む墨田に「環境改善賞」を贈ることとした。

3) 主要 49 都市

   出産環境

- a) 現状： 北九州、京都、鹿児島で優れる。対象人口当りの病院診療所数・病床数は長崎、高知、和歌山が充実。対象人口当りの乳児・新生児・周産期死亡は岡崎、福山、浜松が低い。対象人口当りの妊産婦・乳幼児保健指導件数は静岡、川崎、北九州が多い。京都は妊娠期から生後3ヶ月までの母子保健情報冊子「赤ちゃんといっしょ」を配布。浜松は10代の母親のための子育て教室を開催。
- b) 改善度： 長崎、秋田、京都の順で優れる。高松、宮崎、福山は病院診療所数・病床数が増加。対象人口当りの妊産婦・乳幼児保健指導件数は浜松、新潟、川崎で増加。和歌山は周産期医療ネットワーク協議会を設置。姫路は特定不妊治療助成を拡充。船橋は1歳6ヶ月・3歳児検診を日曜も実施。

   乳幼児保育

- a) 現状： 福山、宮崎、大分の順で優れる。対象人口当りの保育所の施設数・従業員

数・定員などは富山、新潟、高知が充実。延長保育・休日保育では長崎、宮崎、鹿児島が優れる。対象人口当りの0～2歳児保育在所数・乳児保育所数は金沢、倉敷、高松が充実。待機児童ゼロは郡山、いわき、新潟、富山、金沢、長野、岐阜、豊橋、岡崎、和歌山、岡山、福山、高松、宮崎。岐阜、高知は保育所を子育て家庭に開放。相模原、大分は民生委員、児童委員、保健師、保育士、栄養士、臨床心理士などの多様なスタッフによる相談、指導、支援を定期提供。福岡は第3子以降の保育料補助・免除を実施。

- b) 改善度： 堺、浜松、新潟の順で優れる。保育施設数・定員・従業員数などは新潟、富山、浜松が増加。延長保育・休日保育は横浜、さいたま、奈良が拡充。待機児童数は堺、長崎、奈良が大幅に減少。堺は駅前保育所分園の設置を推進。地域での子育て支援のために、宇都宮は保育所内の専用室「なかよしクラブ」、福岡は公民館で「子育て交流サロン」、奈良は公共施設の空室で「子育てスポット」を開設。富山は24時間年中無休で子育て相談を実施。広島は幼保小連携推進委員会を設置し、幼保連携型認定こども園を支援・補助。豊橋は保育所・幼稚園の所管課を一元化。長野は子育て家庭の買物割引券「子育て応援カード」を準備。新潟は地域での安全見守りスタッフを増加。

③ 児童福祉

- a) 現状： 大分、富山、高知の順で優れる。対象人口当りの児童福祉施設数・従業員数・定員数などは姫路、札幌、神戸、岐阜が充実。対象人口当りの児童デイサービス・児童短期入所施設数・従業員数・定員数などは鹿児島、高槻、船橋が充実。
- b) 改善度： 富山、浜松、新潟の順で優れる。児童デイサービス・児童短期入所施設数・従業員数・定員数などは浜松、岡山、福山が増加。

④ 児童養護

- a) 現状： 旭川、岡山、北九州の順に優れ、対象人口当りの児童養護施設数・従業員数・定員などが充実。
- b) 改善度： 浜松、福山、京都の順に優れ、対象人口当りの児童養護施設数・従業員数・定員などが増加。

⑤ 児童保育

- a) 現状： 宮崎、広島、富山の順に優れる。対象人口当りの児童館・児童センターの施設数・従業員数などは長野、広島、岡山が充実。対象人口当りの学童クラブ数は大阪、大分、宮崎が充実。長野は全児童対象の学童クラブを整備。福岡は土日に小学校校庭を開放。大分は校区での児童保育団体を補助。船橋は全小学校の学童クラブ設置を完了。
- b) 改善度： 仙台、広島、神戸の順に優れる。対象人口当りの児童館・児童センター施設数・従業員数は神戸、広島、さいたまが増加。岐阜は土曜学童クラブを実施。堺は子供の身近で安全な場所「子どもルーム」認定団体への補助を開始。

⑥ 母子福祉

- a) 現状： 鹿児島、熊本、秋田の順に優れる。対象人口当りの母子福祉施設、母子生活支援施設などの施設数・従業員数・定員数などは秋田、大分、鹿児島が充実。

- b) 改善度：新潟、京都、鹿児島順に優れ、対象人口当りの母子福祉施設、母子生活支援施設などの施設数・従業員数・定員数などが増加。
- ⑦ 小児医療
- a) 現状：倉敷、北九州、大分順に優れる。対象人口当りの小児夜間救急施設数や開所時間などは大分、倉敷、北九州が充実。小児夜間救急施設のHP案内は横須賀、新潟、高槻が優れる。
- b) 改善度：堺、川崎、さいたま順に優れる。対象人口当りの小児夜間救急施設数や開所時間は堺、川崎、さいたままで改善。
- ⑧ ハードウェア
- a) 現状：対象人口当りの施設数などのハードは、大分、北九州、富山の順に優れる。
- b) 改善度：浜松、新潟、堺順に優れる。横須賀は児童相談所、療養相談センター、子供育成部が入る総合子育て支援施設「はぐくみかん」建設を計画。
- ⑨ ソフトウェア
- a) 現状：開業時間、料金、助成などのソフトでは、宮崎、広島、大分順に優れる。浜松は小中学生と乳幼児の触れ合い体験を推進。鹿児島は子育て家庭のゆとり作りに「錦江湾わくわく親子クルージング」を実施。京都はライフワークバランスに取組む企業を登録し活動をPR。北九州や名古屋は子育て支援企業の認定表彰制度を開始。
- b) 改善度：堺、名古屋、川崎順に優れる。福山保育所への緊急通報システム整備、小学生への防犯ブザー配布、パトロール車両導入を実施。高知は「子育てバリアフリーマップ」を作成。札幌は希望に応じて保育士が家庭訪問する「出前子育て相談」で親の不安負担感を軽減。北九州は子育て情報を地図上に網羅したホームページ「子育てマップ」を開設。
- ⑩ 総合
- a) 現状：ハード、ソフトの両面で対象人口との負の相関傾向が見られるため、出生指数を加味した総合評価では、大分、宮崎、富山の順に優れる。
- b) 改善度：堺、川崎、松山順に優れる。川崎は予想を超える保育所入所希望に対応し「待機児童に関する緊急対策検討委員会」を設置し「保育緊急5か年計画」を作成。
- ⑪ その他：本調査の結果から、バランスのよい子育て環境を提供している大分に「優秀環境賞」、多様な施策によるハード・ソフト両面の充実を進めている堺に「環境改善賞」を贈ることとした。

以上